

# 新聞

## ラオスの小学校は新学期

ラオス9月から新しい学年が始まります。新学期にあわせてノート、鉛筆を供与しました。

今年から小学校教育に世界開発銀行から大きな援助が入りました。これまでも文部省作成の教科書はありましたが特に配布もされず又、有料でしたので購買の強制もできず、先生たちの授業は教科書なしで行なわれていました。しかし今年には全国の1年生に国語と算数の教科書が無料で配布され、来年は2年生へと5年計画で全ての小学校に教科書を使った授業を拡げる事になりました。そこでまず先生たちの教育から行なわれました。先生たちのセミナーは9月21日まででしたので今年の新入生は3週間遅れで入学でした。そこで、文房具と一緒に教科書を届ける予定でしたが先生たちと相談して、無料の教科書がきちんと届くか、数か足りるかを確認してから買う教科書を決めることにしました。

ドンカルム村へは途中の道が洪水で完全に寸断されているために行くことができません。こちらの洪水は雨季が終わるまでにゆっくりと引いていくのでいつ行けるのかわかりません。今年は10年ぶりの大雨らしく、メコン河近郊の田が大被害で今後の米供給が心配されています。



ホンケ村小学校とタラート村小学校へは全校児童に一人あたりノート1冊と鉛筆2本ずつを届けました。少ずつでしたが大変喜んでもらえました。鉛筆の空き箱を筆箱として使うからと取合になり、おおわぎでした。

ホンケ小学校では児童一人一人に文房具を手渡しました。1年生の分は校長先生に預けました。この日テレビを持って行きピーターパンのビデオを観てもらってから食事の前の手洗いの話をしました。ピーターパンは夢中で体を乗り出して観てくれました。この小学校ではJ.A.D.D.O.の援助の他にPTAがお金を集めて電気をひきました。

1994年7月8日 南日本新聞より この他鹿児島経済新聞にも同様内容の記事が掲載されました。

## 川内の団体に193万円

国庫ホラン  
マイア貯金 寄付金を配分へ

郵政省の国庫ホランマイア貯金の寄付金配分団体の川内市の民間団体J.A.D.D.O.（陸奥連合会）が選ばれる。配分決定通知書が同市西岡田町の川内郵便局で伝達された。配分額は前九十二年同、J.A.D.D.O.は、川内市出身で現在在米のマイア貯金活動に当たっている陸奥連合会の呼びかけで平成四年設立。現地の衛生環境を整備するため、「マイア貯金」の付、現地小学校の校舎修理の援助などをしてきた。本年度は前年度に三校での井戸掘りや水かけ、現職教育活動の展開、強校になった日本の小学校の視察、現地地元の計画を盛りこんでいる。マイア貯金の配分額は、前年度は全国で百九十七億二千二百六十二万七千四百千円が配分される。今年度はJ.A.D.D.O.が選ばれる。配分額は、前年度に比べて倍増された。

本年度は前年度に三校での井戸掘りや水かけ、現職教育活動の展開、強校になった日本の小学校の視察、現地地元の計画を盛りこんでいる。



陸奥連合会（中）

# JADDO (アジアのこども達を援助する会)

◇JADDOのあゆみ◇

- 92年12月 帖佐さんがタラート村小を訪問  
ホンケ村小に校舎壁補修費を援助  
帰国後「JADDO」を発足
- 93年3月 ドンカラム村小を訪問、鉛筆やノートを送す
- 4月 ホンケ村小に教室天井補強費を援助
- 6月 ホンケ村で衛生知識の調査
- 10月 ドンカラム村小へ井戸掘り費用を援助
- 12月 タラート村小へ学用品を届ける
- 94年2月 帖佐さんがラオスに転任
- 3月 ドンカラム村小の井戸が完成
- 秋か冬 初めての現地スタディーツアーを予定

ラオスの首都、ビエンチャンから車で一時間半行くと小さなドンカラム村の小学校がこの春、村で初めての井戸が完成した。奇蹟的だ「JADDO」(アジアのこども達を援助する会)の代表、帖佐蓮子さんが、この井戸掘り費用を援助した。ラオスの東部、ホンケ村の村のお母さん二人は、井戸が完成したと聞いて大喜びで水を履いてはいけなかった。

「ラオスの首都、ビエンチャンから車で一時間半行くと小さなドンカラム村の小学校がこの春、村で初めての井戸が完成した。奇蹟的だ「JADDO」(アジアのこども達を援助する会)の代表、帖佐蓮子さんが、この井戸掘り費用を援助した。ラオスの東部、ホンケ村の村のお母さん二人は、井戸が完成したと聞いて大喜びで水を履いてはいけなかった。」



## 井戸掘りから教育まで

2



### ラオス

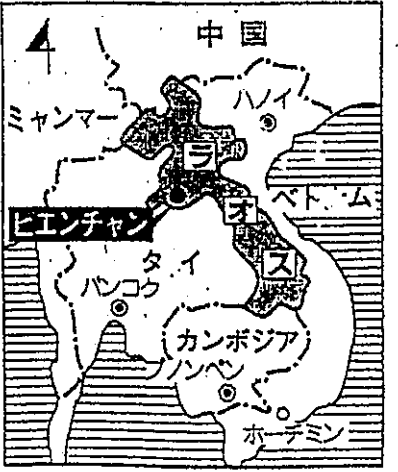
「ラオス」は「ジャット」(その通り)と書える。名前はカンマ人のことわりを込めた。同級生や川内青年会(同)が全面的にバックアップしてくれ、会員百人を起した。

「ラオス」は「ジャット」(その通り)と書える。名前はカンマ人のことわりを込めた。同級生や川内青年会(同)が全面的にバックアップしてくれ、会員百人を起した。

### 子供通して親の意識も...

「ラオス」の子供は、一面に水田が広がる。防接種の意識などを教え、それまでもっと現地のスタッフを養成する仕事が続いていく。

「ラオス」の子供は、一面に水田が広がる。防接種の意識などを教え、それまでもっと現地のスタッフを養成する仕事が続いていく。



「ラオスの教育、小学校5年、中学校3年、高校3年で義務は小学校だけ。登録料があるため就学率は低く、小学校を卒業するのは半分程度。授業は教師の板書を写すだけで、文房具を買ってお金がない子どもも多い。」

「ラオスの教育、小学校5年、中学校3年、高校3年で義務は小学校だけ。登録料があるため就学率は低く、小学校を卒業するのは半分程度。授業は教師の板書を写すだけで、文房具を買ってお金がない子どもも多い。」

記事の枠内に「現地スタディーツアー」とありますが、「会員数人がラオスを訪問予定」の誤りです。